

## 情報公開文書

研究の名称	乳癌既往のある患者に見つかった肺病変の手術33例の後方視的検討
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	土谷 智史 (富山大学附属病院 呼吸器外科 教授)
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b>            2022年4月1日より2025年6月30日までに当院において肺の外科手術を行なった症例のうち、乳癌の既往のある33例（死亡例や転院例は含まない）。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b>            乳癌は女性において最も罹患率の高い悪性腫瘍であり、近年検診の普及と治療法の進歩により、早期発見・長期生存が可能な疾患となってきている。長期生存に伴い、乳癌治療後に第二の原発性癌を発症する患者が増加しており、特に肺癌はその頻度が高いことが報告されている。乳癌既往のある患者における肺癌は、放射線治療やホルモン療法、殺細胞性抗がん剤、分子標的薬および免疫チェックポイント阻害薬などの影響を受ける可能性があり、その発症背景や治療反応性、予後において、乳癌既往のない肺癌症例とは異なる特徴を持つ可能性がある。しかし、乳癌既往のある肺癌手術症例に関する報告は限られており、その臨床的特性や予後に関する知見は十分ではない。</p> <p>本研究では、乳癌の既往を有する肺癌手術症例33例を対象に後方視的解析を行い、患者背景、腫瘍の病理学的特徴、治療経過および予後を明らかにすることを目的とする。また、可能であれば乳癌既往のない肺癌症例との比較を通じて、乳癌既往が肺癌の臨床経過に与える影響についても検討する。</p> <p><b>【研究の方法】</b>            2022年4月1日より2025年6月30日までに当院において肺の外科手術を行なった症例のうち、乳癌の既往のある33例を対象として診療録を参照し後方視的に解析する。</p> <p><b>【研究期間】</b>            実施許可日～2026年3月31日</p> <p><b>【利益相反の状況】</b>            本研究に関連する企業は存在しないため、申告すべき利益相反は存在しない。</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b>            研究結果を日本外科学会学術集会にて発表する。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	本研究では、情報を取得した後は、氏名、診療録ID等の個人の識別が可能な記述は用いず、個人とは無関係な研究用識別番号を付することで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工する。研究用識別番号と診療録IDとの対照表を作成し、加工済みの研究データと対照表はセキュリティ管理上別に保管される。加工された情報はパスワードロックによりアクセスが制限された呼吸器外科医局端末で管理する。本研究に関する情報等は研究結果の最終公表後から10年間保管し、紙媒体の裁断または電子

	ファイルの消去により復元不可能な形で廃棄する。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	土谷 智史 (富山大学附属病院 呼吸器外科 教授)
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7371 FAX 076-434-5032 E-mail <a href="mailto:inamasu@med.u-toyama.ac.jp">inamasu@med.u-toyama.ac.jp</a> 担当者所属・氏名 呼吸器・胸郭センター 稲益 英子